

# 地域への熱き思い

全国を見渡すと、多くの自治体で人口の停滞や減少が起きています。しかし、福津市では人口が順調に伸び、折しも市制10周年を迎えた今年、人口6万人を突破しました。ここに至ったのは、先人の苦勞とたゆまぬ努力があったからではないでしょうか。そこで、元町長や前市長を訪ね、まちづくりについて話を伺いました。

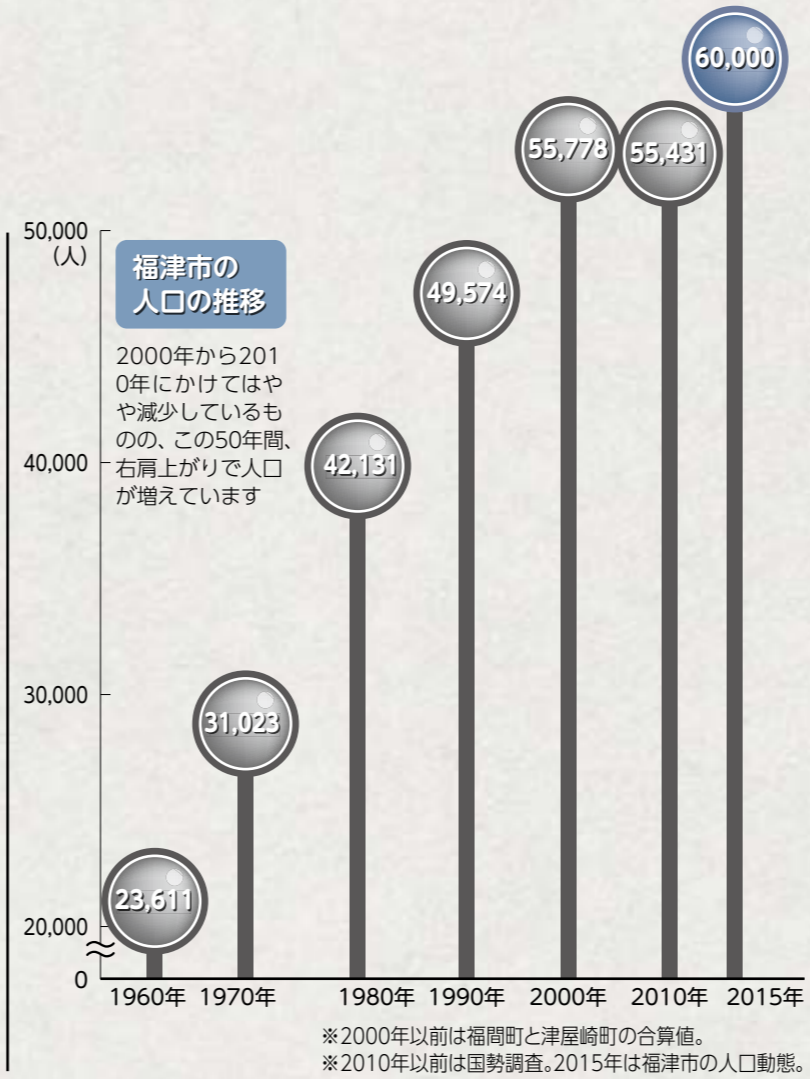
## 豊かな自然を全国に発信

「6万人ですね。新聞で読みました。おめでとうございませう」と開口一番、満面の笑みで挨拶をしてくださった阿部さん。津屋崎町で町長をしていた時代のことを尋ねると、「自治体間競争で優位に立つために、いろいろと取り組みました。豊かな自然環



阿部 弘樹さん  
元津屋崎町長  
福岡県議会議員

境や神社などの資源がありましたから、その中の一つであるうみがめに着目し、うみがめ課をつくりました。これは対外的にも評価され、結果としてですが、美しい海を持つ自治体として、全国にアピールできました」と思い出しながら語る阿部さん。



## 人口増の決め手は駅東開発

厳しい時代を生き抜くために福岡町と津屋崎町が合併し、誕生した福津市。その初代市長だった池浦さんにも当時を振り返っていただきました。池浦さんは、それぞれの事業に思い出があると言いますが「こだわっ



池浦 順文さん  
元福岡町長  
前福津市長

ていたのは、住民参画です。福津市長になる前の、福岡町長時代からの「こだわりです」と語ります。町長時代も参画を掲げ、住民参画のまちづくりや広報紙日本一で総務大臣表彰を受けたほか、男女共同参画社会の実現も頑張っていた池浦さん。「このよう



▲開発が着々と進む福岡駅東地区(日時野)。以前の田園風景はなく、マンションが建ち並んでいます

あったからです。まず下水道事業。それとやはり、JR福岡駅の駅舎改築と駅東地区の宅地開発です。何度も何度も陳情のために上京しました。まちが発展するか、しないかの瀬戸際でした」と語る池浦さん。そして「今からが正念場。箱物等の維持管理費も大変でしょう。厳しい時代だからこそ市職員の行政力や企画力が問われます。更なる人口増、発展につなげてください」と厳しくも優しく結んでくださいました。

## その1 データで見る福津市

日本、あるいは福岡県という視点からすると、福津市はどのように見られているのでしょうか。全国813市区の「住みよさ」などを調べた東洋経済の『都市データパック2015年版』から一部を抜粋して紹介します。

**住みよさ**  
全国37位、福岡県内で1位  
福津市は全国で37位の住みよさと評価されています。県内の28市の中では1位に輝いています。

- 県内ベスト3**
- 1位 福津市(37位)
  - 2位 筑紫野市(161位)
  - 3位 直方市(216位)
- ( )内は全国順位

**成長力**  
全国6位、福岡県内で1位  
福津市の成長力は全国で6位と高評価です。県内でも1位に輝いています。

- 県内ベスト3**
- 1位 福津市(6位)
  - 2位 小郡市(36位)
  - 3位 古賀市(71位)
- ( )内は全国順位

高評価である背景は、転入転出人口比率や新設住宅着工戸数などの統計が、他市よりも良好であったためと推測されます。これは福岡駅東地区の大型住宅団地、日時野によるものといえるのかもしれませんが。

## 特集 あした天気になあれ

## 声 福津のここがすごい

**男女共同参画の条例を九州でいちばん最初に**  
条例制定は九州でいちばん最初でした。生みの苦しみがありました。誇れる内容になっています。



**ウミガメの産卵は最近、確認できていませんが、このすばらしい海を未来の子どもたちに残したいですね。**



**立派な計画ができたとしても、中心は「人」です。計画策定審議会会長でしたが、本当に多くの意見を聞きました。**



**他国と交流していた胸形君族の墳墓が、こ福津市の海を望む場所にありま**



**古墳群整備基本構想を持つ**



福岡駅東地区の開発で利用者が増え、朝夕は混雑するJR福岡駅